



# 新潟教育会報

第95号

公益財団法人新潟教育会  
(新潟教育会館内)

代表理事 濱中 力也

〒951-8104  
新潟市中央区西大畑町590番地3  
TEL/FAX 025-222-2971  
URL <http://kyouikukai.jp>  
E-mail 事務局 [jimu@kyouikukai.jp](mailto:jimu@kyouikukai.jp)  
研究所 [kenkyujo@kyouikukai.jp](mailto:kenkyujo@kyouikukai.jp)

休館日 月曜日



西大畑の雪景色  
「教育会館から「安吾風の館」を望む」

## 「ウイズ・コロナ」の影響



理事

森 正司

昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響を様々な形で受けている。一つ目は個人的影響。一昨年八月、東京で暮らしている長男が、結婚したいと言ってきた。十一月、先方のご両親に挨拶に伺い、昨年五月の挙式が決まった。そこへコロナ禍が襲う。感染の第一波である。三月早々、十二月への延期を決めた。

それにしても、東京の感染者数の増加が気にかかる。七月はひと月で六千五百人に迫り、八月は八千人を超えた。第二波とのこと。これでは新潟からの招待客はほぼ出席できない。そう思っていると、長男からメールが届いた。十二月の挙式は諦めて、入籍だけに。式は翌年の十一月に再延期することのこと。

二つ目は各種団体活動への影響。新潟教育会の活動も軒並み中止や延期・自粛を余儀なくされている。夏季大学講座や教育相談研修会、教美展は中止。教師力アップ講座は延期の上、受講者数を減らしての開催。そんな中、「教育会報」の尾畑留美子氏へのインタビュー記事が斬新で説得力があり秀逸であった。

私が事務局を担当している県退職公務員連盟の活動も同様である。四月の代議員会は、郵送による議案提示と書面表決に変更された。その後の本部会や組織部会などは延期。十月の日公連全国大会と上京陳情は中止。十一月の北陸ブロック協議会も翌年度への延期である。みな高齢者が集う会だから仕方がない。

現在は第三波の真っ只中。東京の感染者数は一月だけで三万九千人を超えた。新潟は一月末までの累計で九百十人である。確かに東京の人口は新潟の六倍強もある。だがこれはひどい。影響は今年度の様々な活動に及ぶだろう。さてどう進めるか。

このような「ウイズ・コロナ」を余儀なくされる生活で、確実に増えたのが手持ちのマスクの数。今現在、不織布マスクが七十枚、「あべのマスク」を始めとする布製マスクが十枚ほどある。みな私専用である。ソーシャル・ディスタンスは広くとるが、家庭内での人の距離だけは変わらずにいてほしいと願う。

# 事業報告

## 夏季大学講座

8月1日(土)に予定されていた本講座は中止になりました。

来年度は、令和3年7月31日(土)に、今年度お願いしていた、さき酒マイスター・尾畑酒造専務取締役の尾畑留美子氏による講座を実施する予定です。会場は長岡リリックホールとなります。

左の写真は、濱中代表理事が講師の尾畑様を訪ね、「学校蔵」のプロジェクトや学校への思いをインタビューしてきたたときのもので、詳しくは、新潟教育会ホームページをご覧ください。



## 第23回教美展

6月に予定していた第24回教美展は中止になりました。

次回の開催は、会場である新潟県民会館の改修が終わり、使用可能となる令和4年11月22日から28日までとなります。

なお、令和3年度は、作品を紙上发表という形で皆様に紹介する予定です。

## 教師力アップ講座

期 日 令和2年11月7日(土)  
会 場 新潟教育会館  
参加者 延べ24人

### 第一講座

「特別な支援を必要とする子がいる学級経営・学習指導  
UDLの考え方を取り入れて」  
講師 加茂市立加茂西小学校校長  
古田島 恵津子 様

### 受講者から

私の学級の支援を必要とする児童のことが頭に浮かび、「子どもファースト」を意識しないとと思いました。子どもの目線に立ち、意識を低下させないようにしながら、授業づくりや学級経営に取り組んでいきたいと思いました。



### 第二講座

「学年に応じた外国語の授業づくり  
育てたい資質・能力をどう育てるか」  
講師 新潟市小学校英語教育推進  
リーダー  
新潟市立味方小学校教頭  
村上 大樹 様



### 受講者から

講師の先生自身の実践から話をしてくださったので、とても分かりやすかったです。  
「楽しく」学ばせていただきました。肩肘張らずに、自分も楽しみながら、真似をしながら引き出しを増やしていこうと思いました。  
子どもの考えを入れて活動することで、子どもの意欲は高まると感じました。体験しながら、また、子どもの映像を見ながら具体的に学ぶことができました。

## 特別支援教育の助成

・選考委員会 9月29日(火)  
・理事会で決定 10月10日(土)  
・助成金授与式 11月20日(金)  
(会場 新潟教育会館)

特別支援教育の研究と実践を計画的に行い、成果を上げている県内の小・中学校の6校に各5万円を助成しました。

- ・ 刈羽村立刈羽小学校
- ・ 燕市立燕西小学校
- ・ 新潟市立真砂小学校
- ・ 上越市立城西中学校
- ・ 佐渡市立阿津中学校
- ・ 新潟市立小須戸中学校

本事業は、昭和47年以来続いているもので、助成した学校は381校に及びます。当会では、これからも県内の特別支援教育に努力されている学校に対する助成を継続したいと考えています。



令和元・2年度 教育研究論文第25集 入選者一覧

Table with 4 columns: 氏名, 勤務校, 教科・領域等, 論文題. Lists 18 authors and their respective schools and research topics.

教育研究論文の募集
令和元・2年度 論文執筆希望者の募集案内
公募制採点人新潟教育会では、毎年「教育研究論文集」を発行しています。

「教育研究論文第25集」の発刊

令和元年度初に、次の三つを目的として、論文の募集を行いました。
・教育実践をより豊かで充実したものにする。
・実践研究を共有するために論文の表現技法を磨き、身につける。
・多くの読み手を刺激し、指導力・実践力を更に高める。

令和元・2年度 教育研究論文集 第25集
公募制採点人 新潟教育会

会務報告

- 令和2年
4月3日(金) 第1回連絡会
4月14日(火) 会計監査会
4月18日(土) 第1回理事会
4月28日(火) 第2回連絡会
6月4日(木) 事業案内、刊行物等発送
6月6日(土) 第1回評議員会(定時評議員会)
6月10日(水) 第2回理事会(みなし決議)
6月25日(木) 「報告書」冊子発刊
7月18日(土) 第3回連絡会
9月3日(木) 「第24回教美展」小委員会
9月5日(土) 第4回連絡会
9月9日(火) 教育研究論文(第25集)審査打合せ
9月29日(水) 第1回資料選定委員会
9月9日(水) 特別支援教育助成校選考委員会
10月10日(土) 第3回理事会
10月23日(金) 第5回連絡会
10月31日(土) 教育アドバイザー説明会
11月6日(金) 資料選定小委員会
11月9日(月) 教育研究論文(第25集)第二次審査会
11月17日(木) 資料選定小委員会
12月10日(木) 会報・所報 発送
12月15日(火) 第6回連絡会
令和3年
1月19日(火) 第2回資料選定委員会
1月28日(木) 第7回連絡会
3月3日(水) 資料選定委員会データ入力作業
3月4日(木) 第8回連絡会
3月13日(土) 第4回理事会
3月14日(日) 第2回評議員会
3月16日(火) 表彰式
会報・所報・教育研究論文集(第25集) 発送

新潟教育会一年の歩み

### 教育アドバイザーの派遣

現職の皆さんの教師力・授業力の向上や保護者の皆さんの子育てを支援するため、令和2年度は24件の要請に対して教育アドバイザーを派遣しました。(1月26日現在)今年度、当研究所に登録しているアドバイザーは121名です。

アドバイザーリストをご覧いただくとお分かりのように、その支援分野は多岐にわたっています。経験と識見豊かな教育アドバイザーを大いに活用願います。

#### 派遣の傾向

##### (派遣内容)

昨年度末からこれまでコロナ禍により学校環境が激変しました。外部指導者が校内に立ち入ることが不可能な時期もありました。そのような中でリモートによる実践もスタートしました。ただ依頼する側もアドバイザー側も不慣れのため、今後の積み重ねが求められます。

##### (派遣地域)

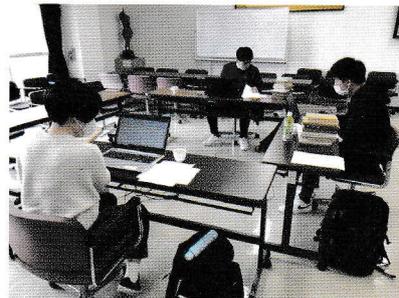
新潟市を含む下越地区は14件で最も多くなっています。今まで依頼のなかった地区からの派遣依頼は微増しています。「遠いから」と躊躇せず、相談してください。教育アドバイザーは県内各地に住んでいるので、まずは、「アドバイザーリスト」に目を通してください。

##### (派遣の実際)

「新潟教育研究所」の所報第46号に、今年度派遣した教育アドバイザーの「アドバイザー日記」並びに「教育アドバイザーを要請して」が掲載されているので、ご覧ください。

### 教育資料室の運営

昨年度は資料を整理し、空きスペースの確保に力を入れました。今年度は、学生アルバイトを雇用し、利用者の皆様に少しでも早く活用していただけるよう、データベース化を進めています。



### 教育情報の発信

「教育会報」(年3回)

「教育研究所報」(年3回)

「ホームページ」

適時更新し、新しい情報に触れられるようにしています。



### 教育会館の活用

今年度はコロナ禍の影響でキャンセルが目立ちました。施設の利用延べ数は次のとおりです。( )内は昨年度比。

- ・使用団体 一四一団体(64%)
- ・使用者 一三九七人(39%)

※1月末日現在

### 会館の環境整備

#### ○インターネット環境

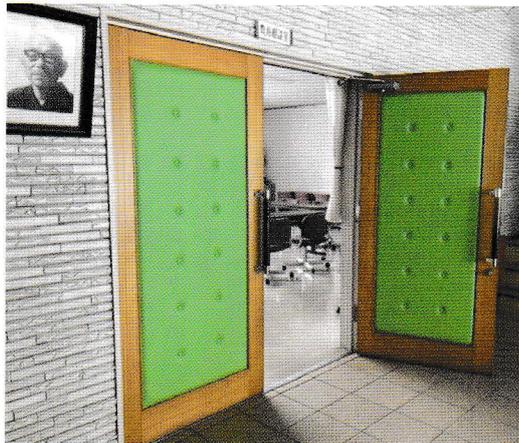
インターネット環境の整備を図り、1階相談室と2階会議室でWiFiが使えるようにしました。リモートによる会議や研修で使うことが可能です。どうぞご利用ください。



#### ○ホワイトボード設置

相談室と会議室に移動式ホワイトボードを設置しました。

○扉の改修  
老朽化が進み、汚れが目立っていた扉のクロスを取り替えました。1階相談室と2階会議室の出入り口が明るくなりました。



### あしがき

今年度を締めくくる本号は、一年間の会務及び事業の報告を中心に編集しました。振り返ると、新型コロナウイルスに始まり、年間通してその対応や、事業の中止や変更を余儀なくされました。そして、学校現場の方々と教育関係の方々のご苦労はいかばかりかと思う毎日でもありました。一方、変化の激しい時代だからこそ大事なものは何かを考える機会も得ることができました。先人の残してきた知恵やこれまでの実績に加え、いかに柔軟に変化し、前進していくかということです。

これからも皆様からのご支援に感謝しながら、歩みを進めていきたいと思っております。